

令和5年度 第4回 岸和田市観光振興計画推進委員会

1 日時 令和6年3月27日(水) 午前10時～午前11時

2 場所 岸和田だんじり会館 1階 会議室

3 出席者

【学識経験者】石田信博、佐野楓

【公共的団体の代表者】中井秀樹、山本義治、井上實、藤浪勝三

【関係団体の代表者】寺本信吾、兒嶋一裕、塩見正成、北林弘幹

【市民公募】加藤一、宮田晴未

【オブザーバー】藤井健一

【欠席者】小川雅司、土井康司

【事務局】船橋魅力創造部長、井上観光課長、有留担当主幹、増田担当長、藪内担当員、出口担当員、新谷(ブレインファーム)、竹平(ブレインファーム)、荒木(ブレインファーム)、中竹(ブレインファーム)

【傍聴者】 1名

次第

1 開 会

(1) 部長挨拶

2 議 事

(1) 観光創造ビジョン・岸和田策定について

(2) 第2期行動計画(延長)の実施報告について

(3) その他

3 閉 会

配布資料

○次第

○配席図(資料①)

○観光創造ビジョン・岸和田(資料②)

○第2期行動計画(延長)の実施報告書(資料③)

○令和6年度のスケジュール(案)(資料④)

1 開会

(1) 部長挨拶

2 議事

(1) 観光創造ビジョン・岸和田策定について

●事務局

- ・資料②ならびに、審議過程の説明。
- ・市民に対し、意見聴取（パブリックコメント）を2月24日から3月25日までの1か月間実施したが、意見は無かった。
- ・資料②を、文言チェックなど細かい最終確認を行ったうえで「観光創造ビジョン・岸和田」（第3次岸和田市観光振興計画）正式版としたい。

●委員（D）

- ・パブリックコメントに対する意見が無かったということだが、賛成意見や観光全般に関するコメントも出なかったのか。

●事務局

- ・市の意見聴取制度に基づき、市ホームページ、観光課、広報広聴課情報公開コーナー、各市民センター等で計画案をご覧いただく機会を提供したが、1件も意見が寄せられなかった。

●委員（I）

- ・観光客、特にインバウンドの受入は、受入側の環境整備が必要。パブリックコメントで意見が無かったということだが、受入側の市民の皆さんのお考えなどについて、今後どのように対応していく予定なのか。

●事務局

- ・市民や事業者も含め、受入体制については計画にも記述している。計画に基づき、ソフト面もハード面も丁寧に準備していきたい。

●委員長

- ・その他に意見はあるか

(意見なし)

- 委員長

- ・「観光創造ビジョン・岸和田」の策定を委員会として承認する。

(2) 第2期行動計画(延長)の実施報告について

- 事務局

- ・資料③の説明。

- 委員(B)

- ・数年前から比べると様々な施策に取り組んでいるが、どれぐらいの経済効果があったのか。

- 事務局

- ・現時点で、経済効果を出すには至っていないのが実情。カーネーションの際には経済効果が出ていた。その点を踏まえ、計画ではKPIを設定した。3年後に動向調査を実施し、報告できるように取り組んでいきたい。

- 委員(D)

- ・パブリックコメントが無かったことも含め、市民に関心が無い状態。事業を実施することによる市民の盛り上がりや、市民がどのように思っているかを市が問いかけることが必要ではないか。
- ・職員向け研修が、令和4年度、5年度と実施がない。他部局も含めて一体となって観光行政を進めていただきたい。市内事業者へ他部局の職員を派遣するといった手法も検討してはどうか。

- 事務局

- ・パブリックコメントが無かったことを良いとは受け止めていない。地域に市が足を運ぶことも重要と考える。令和6年度は、子ども対象の郷土愛を育むアウトリーチ事業や事業者に対する説明を進めるなど、市民と一緒に事業を推進する。
- ・研修については、次年度に組み込む予定であり、ひとまず座学研修を想定している。

●委員（E）

- ・新たに採用された職員の中には、岸和田の観光資源を知らない人がいる。数年前までは、ボランティアガイドによる新人研修があった。希望があれば研修を行う。

●委員（H）

- ・第2期行動計画の実施内容は事実としてこの通りだと思うが、より客観的な視点として、経年比較や他の市町との比較といった尺度で、事業ができているのかどうかを測ってみてはどうか。
- ・パブリックコメントに対する意見が無かったのは、市民にとっての観光はまだ遠い存在なのかもしれないが、その意味でコンテンツ開発において、市民に理解、市民が参加できるあり方を期待している。

●事務局

- ・次期計画に関する実施報告については、実績に加え、KPIの達成状況、評価、課題点という視点からまとめ、比較できるようにしていきたい。
- ・市民の参加については、委員の皆さんに協力をいただきながら一緒に行っていきたい。

●委員長

- ・経済効果を明らかにすることで、比較も可能となるため重要である。経済波及効果のような細かいデータ処理が必要な指標ではなくてもよいので、継続的に市民に分かりやすく伝えていくことが重要。

●委員長

- ・その他に意見はあるか。

（意見なし）

●委員長

- ・第2期行動計画（延長）の実施報告について委員会として承認する。

（3）その他

●事務局

- ・資料④の説明。

●委員（G）

・令和6年度は大阪関西万博を意識する必要がある。次年度どのようなことをしていくか、早めに決められるものは決めて動いていただきたい。

●委員長

・その他に意見はあるか。

（意見なし）

●事務局

- ・3月31日をもって「観光創造ビジョン・岸和田」を策定とする。
- ・次年度からは、計画に基づき、事業を確実に進める。次年度は進捗管理を本委員会に諮る。実績などを可能な限り数値を示し、評価基準を設け、PDCAサイクルに基づき実施する。
- ・委員の皆さまには協力をお願いすることがあるかと思うが、ご指導を賜りたい。

3. 閉会

●委員長

・本日の推進委員会を閉会する。